

環日本海定期貨客船航路の利用状況について

平成30年1月19日
通商物流課

環日本海定期貨客船航路の境港における2017年(1月～12月)利用状況は下記のとおりです。
(境港管理組合の暫定集計)

1 旅客数(境港～東海間)

- ・ 韓国人訪日客の増加により、対前年比15.2% (4,424人) 増の延べ33,567人となり、就航以来の年間最高値を更新した。

■旅客実績(1～12月)

区分	運航回数 (往復)	延べ 乗客数	1便当たり 平均乗客数	乗客国別内訳			
				韓国	日本	ロシア	その他
2016年	53航次	29,143人	275人	27,049人 (92.8%)	603人 (2.1%)	950人 (3.2%)	541人 (1.9%)
2017年	50航次	33,567人	336人	31,212人 (93.0%)	389人 (1.1%)	1,330人 (4.0%)	636人 (1.9%)
増減	△3航次	4,424人	61人	4,163人	△214人	380人	95人

*2016年は、境港への臨時寄港2航次有り

2 貨物(境港の取扱貨物量)

- ・ 輸出では韓国向け建設機械やロシア向け完成自動車・建築材料、輸入では韓国からのパブリカや水産加工品の貨物が増加したことから、重量(ft)ベースで対前年比10.1%(650ft)増の7,111ftとなったが、ピーク時の2013年(9,737ft)と比較すると73%にとどまっている。

■貨物実績(1～12月)

区分	運航回数 (往復)	境港での貨物実績				1便当たり 平均貨物量 (トン数)
		コンテナ貨物		バルク貨物	合計トン数	
		(TEUベース)	(トンベース)			
2016年	53航次	499TEU	3,040ft	3,421ft	6,461ft	61.0ft
2017年	50航次	483TEU	2,617ft	4,494ft	7,111ft	71.1ft
増減	△3航次	△16TEU	△423ft	1,073ft	650ft	10.1ft

*1TEUは、20フィートコンテナ1個を表す単位

*トン数の単位としているft(フレートトン)とは、容積1.113m³(40立方フィート)、重量1,000kgをもって1トンとし、重量または容積の何れか大なる方を採用する換算方式

[2017年貨物内訳(1月～12月)]

	区分	出入	数量	主な貨物
境港↔東海	コンテナ	輸出	18 TEU	製造食品
		輸入	221 TEU	野菜・果物、水産品
	バルク	輸出	1,387 ft	産業機械
		輸入	275 ft	完成自動車
境港↔ウラジオ	コンテナ	輸出	189 TEU	自動車部品
		輸入	55 TEU	水産品
	バルク	輸出	2,561 ft	完成自動車、窯業品
		輸入	271 ft	完成自動車

【参考】韓露間を含む旅客及び貨物量の推移(DBS社資料)

